

コスモス 8月号

第70巻 第8号

◆宮柁ニカレンダー（41）八月の歌

省境を幾たび越ゆる綿の^み実の白さをあはれつ
くつく法師鳴けり
歌集『山西省』

この歌は『山西省』『晉察冀辺区』の中の一首である。昭和十七年八月ごろの作で、省境とは河北省と山西省を指す。

厳しい山岳地帯を幾度も越えながら戦ってきたことか。時には綿畑に遭遇することもある。熟れた綿の実が爆ぜて白くやさしく風に靡き、どこかでつくつく法師が鳴いている。ここは戦場ではなくて、故国のどこかの様な一時のやすらぎに、憩う兵士たちの心。綿の実の白さと、つくつく法師の声がひびきあい、静かに胸に染みってくる。
(柏崎 睦)